

注3

大学番号：179

[平成23年度設置]

計画の区分：学部学科設置

注1

届出

大正大学 人間学部 人間環境学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人大正大学  
平成25年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

1.	調査対象大学等の概要等	・ ・ ・ ・ ・	1
2.	授業科目の概要	・ ・ ・ ・ ・	5
3.	施設・設備の整備状況，経費	・ ・ ・ ・ ・	1 1
4.	既設大学等の状況	・ ・ ・ ・ ・	1 3
5.	教員組織の状況	・ ・ ・ ・ ・	1 4
6.	留意事項に対する履行状況等	・ ・ ・ ・ ・	2 6
7.	その他全般的事項等	・ ・ ・ ・ ・	2 7

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学 校 法 人      大 正 大 学

## (2) 大学名

大 正 大 学

## (3) 大学の位置

〒170-8470

東京都豊島区西巣鴨三丁目20番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	( スギタニ ギジュン ) 杉 谷 義 純 (平成21年3月)		
学 長	( タダ コウブン ) 多 田 孝 文 (平成22年4月)	( カツザキ ユウゲン ) 勝 崎 裕 彦 (平成25年4月)	任期満了のため 平成25年3月31日 (25)
学 部 長	(イトウ ナオフミ) 伊 藤 直 文 (平成22年4月)	( イデ ヒロヒサ ) 井 出 裕 久 (平成25年4月)	任期満了のため 平成25年3月31日 (25)
学科長等		(オチアイ タカユキ) 落 合 崇 志 (平成23年4月)	学部等新設のため(23)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は、平成22年度開設の4年制の学科の場合（平成25年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間学部 人間環境学科 学士（人間環境学）	4 年	60 人	— 3年次 人	240 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 ( - ) [ - ]		60 ( - ) [ - ]		60 ( - ) [ - ]				1.12倍	
志願者数	272 ( - ) [ 1 ]		178 ( - ) [ 1 ]		243 ( - ) [ - ]					
受験者数	268 ( - ) [ 1 ]		174 ( - ) [ 1 ]		237 ( - ) [ - ]					
合格者数	112 ( - ) [ 0 ]		153 ( - ) [ 0 ]		161 ( - ) [ - ]					
B 入学者数	71 ( - ) [ 0 ]		64 ( - ) [ 0 ]		68 ( - ) [ - ]					
入学定員超過率 B/A	1.18		1.07		1.13					

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		平成 2 6 年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		[ - ] 71	[ ]	[ - ] 64	[ ]	[ - ] 69	[ ]	[ ]	[ ]	
2 年次				[ - ] 70	[ ]	[ - ] 65	[ ]	[ ]	[ ]	
3 年次						[ - ] 68	[ ]	[ ]	[ ]	
4 年次								[ ]	[ ]	
計		[ - ] 71		[ - ] 134		[ - ] 202		[ ]		

- (注) ・ 数字は、平成 2 5 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	人	人	平成22年度	人	人		%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	71 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1人)	0.0 %
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	64 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	68 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	203 人	1 人					0.0 %

(注)・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下      ・学力不足      ・他の教育機関への入学・転学      ・海外留学  
・就職      ・学生個人の心身に関する事情      ・家庭の事情      ・除籍      ・その他

## 2 授業科目の概要

<人間学部 人間環境学科>

### (1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
大学 入 門	大学入門 1-I	1前	1								兼1
	大学入門 1-II	1前		1							兼1 兼8 兼4
	大学入門 2	1前	2			1		1			兼2 兼33 兼16
	大学入門 3	1前	2				1 1				兼7 兼34 兼16
	大学入門 4	1前	2					1	1		兼7 担当教員退職のため(23)
								1 0			兼51
	小計 (5科目)	—	7	1	0	1 0	1 0	1 0	1 0	0	兼29 兼34
TS R 科 目	TSRセルフマネジメントセミナー	1前・1後	1								兼1 集中
	小計 (1科目)	—	1	0	0	0	0	0	0	0	兼1
人 間 探 究	人間探究 A-I	1・2前・後		2							兼2 兼2 担当者体調不良のため休講(25)
	人間探究 A-II	1・2前・後		2							兼3
	人間探究 B-I	1・2前・後		2		1					兼2 兼4
	人間探究 B-II	1・2前・後		2							兼3
	人間探究 C-I	1・2前・後		2							兼1 兼2
	人間探究 C-II	1・2前・後		2							兼1
	人間探究 D-I	1・2前・後		2							兼2 兼4 兼3
	人間探究 D-II	1・2前・後		2							兼4
	人間探究 E-I	1・2前・後		2							兼4
	人間探究 E-II	1・2前・後		2							兼4 兼2
	人間探究 F-I	1・2前・後		2							兼1
	人間探究 F-II	1・2前・後		2							兼2
	人間探究 G-I	1・2前・後		2							兼3
	人間探究 G-II	1・2前・後		2							兼5 兼4 兼3
	人間探究 H-I	1・2前・後		2							兼4 兼4 兼2
	人間探究 H-II	1・2前・後		2							兼4
	人間探究 I	1・2後		2							兼2 兼1

[illegible]



	基礎部門	基礎ゼミナールⅠ	1前		2		4		4	4		ワークショップを充実させたため削除
		基礎ゼミナールⅡ	1後		2		4		4	4		ワークショップを充実させたため削除
							4					担当教員退職のため(23)
		人間環境論	1 前	2			5	2	2			
		現代社会と環境・こども	2前	2			6	4	4	4		
		仏教環境論	2後	2			1		1			
		こども学基礎論Ⅰ	1後		2		1		1			兼1
		環境福祉論	1後		2		4					兼1ワークショップを充実させたため削除(2)
		こども学入門Ⅰ	1 前		2				1			
		こども学入門Ⅱ	1後		2		1					
	小計(6科目)								1	0		兼1
		小計(7科目)	—	6	8	0	6	1	0	4	0	兼2
	専門部門	A群	こども学基礎論Ⅱ	2前		2		1				
			2後									
			こども学基礎論Ⅲ	2前		2						兼1
			現代こども研究A	2後		2						兼1
			現代こども研究B	2後		2		1				
			現代こども研究C	2前		2						兼1
			2									
			現代こども研究D	2前		2		4				兼1
			現代こども研究E	3前		2						兼1
			3後									
		B群	現代こども研究F	3前		2		1				
			3前									
			現代こども研究G	3後		2						兼1
			3後			2						兼1
			現代こども研究H	3後		2						
			小計(10科目)	—	0	20	0	2	0	0	0	0
												兼7
												兼6
			環境基礎論A	1前		2			1			
			環境基礎論B	1後		2			1			
			環境基礎論C	1後		2		1				
			環境基礎論D	1前		2		4		1		
			環境研究A	2前		2			1			
			環境研究B	2後		2		4		1		
			環境研究C	2前		2		1				
			環境研究D	2後		2		4	1			
			3・4前									教育効果の観点から配当年次変更(25)
			環境応用論A	3前		2			1			兼1
			3・4後									教育効果の観点から配当年次変更(25)
			環境応用論B	3後		2						兼1
			3・4後									
			環境応用論C	3・4前		2						兼1
			環境応用論D	3・4後		2						兼1
			2前									
			環境実践論A	2後		2						兼1
			環境実践論B	3前		2						兼1

第Ⅱ類科目	C群	小計（14科目）	—	0	28	0	2 3	2 4	1 0	0	0	兼5 兼6 兼4	
		人間環境研究A	2前									兼1	
		人間環境研究B	2後		2							兼1	
		人間環境研究C	2前		2							兼1	
			2後		2								
			2前										
	A群	人間環境研究D	2前・後		2							兼1	
		小計（4科目）	—	0	8	0	0	0	0	0	0	兼4	
	実践部門	ワークショップⅠ（こども）	1前		6		1 3 2		1				
		ワークショップⅡ（こども）	1後		6		3 1		1				
		ワークショップⅢ（こども）	2前		6		2 3 4		1			兼1	
		ワークショップⅣ（こども）	2後		6		2		4				
		ワークショップⅤ（こども）	3前		6		3		1			兼2	
		ワークショップⅥ（こども）	3後		6		3		1			兼2	
		ワークショップⅦ（こども）	4前		6		3		1			兼2	
		ワークショップⅧ（こども）	4後		6		3		1			兼2	
		フィールドワークⅠ（こども）	2前		2		3		1				集中
		フィールドワークⅡ（こども）	2後		2		3		1				集中
		小計（10科目）	—	0	52	0	3	0	9	0	0	兼4	
	B群	ワークショップⅠ（環境）	1前		6		1 3 1	2 4 2	1				
		ワークショップⅡ（環境）	1後		6		3 1	4 2	1				
		ワークショップⅢ（環境）	2前		6		3 1	4 2	1				
		ワークショップⅣ（環境）	2後		6		3 1	4 2	1				
		ワークショップⅤ（環境）	3前		6		3 1	4 2	1			兼2	
		ワークショップⅥ（環境）	3後		6		3 1	4 2	1			兼2	
		ワークショップⅦ（環境）	4前		6		3 1	1				兼1	
		ワークショップⅧ（環境）	4後		6		3 1	1				兼1	
		フィールドワークⅠ（環境）	1前		2		2 3	2 4	1			兼1	集中
		フィールドワークⅡ（環境）	2前		2			4				兼1	集中
		小計（10科目）	—	0	52	0	1 2 4	2 4 4	1 0	0	0	兼5 兼4 兼1	
		卒業論文	4		8		5 4	4 4	2				
		卒業研究	4		8		4 4	4 4	2				
		小計（2科目）	—	0	16	0	5 4	4 4	2 0	0	0		

合計（111科目）	—	13	251	0	5 6	4 1	2 1 0	0 1 0	0	兼132 兼98 兼49
-----------	---	----	-----	---	--------	--------	-------------	-------------	---	--------------------

- （注）・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成24年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## （2）授業科目数

届 出 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 7	科目 104	科目 0	科目 111	科目 8 [ 1 ]	科目 103 [ Δ1 ]	科目 0 [   ]	科目 111 [   ]	

- （注）・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[   ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	基礎ゼミナールⅠ	2	1前	専門	選択	ワークショップを充実させたため
2	基礎ゼミナールⅡ	2	1後	専門	選択	ワークショップを充実させたため
3	環境福祉論	2	1後	専門	選択	ワークショップを充実させたため

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

1～3.

基礎ゼミナールⅠ・Ⅱが担ってきた教育内容については、学びの作法、基礎的知識・学習方法をより効率的に実践学習へと結びつけるために、ワークショップⅠにおいて講義形式と演習形式を織り交ぜることで基礎教育内容の充実をはかった。さらに、環境福祉論が担ってきた学習内容についても、グループ形式や双方向型授業としてワークショップに組み入れることで、学生がより主体的に知識・技能習得を行えるようになった。

基礎ゼミナールⅠ、基礎ゼミナールⅡおよび環境福祉論は配当年次が1年次であるため履修要項で周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【賃与者】 (学) 佛教教育学園 【賃与期間】 H5.1.26から20年間 H24.4.1から20年間 (24)  新教育・研究棟新設 (24) 土地購入のため (25)	
	校 舎 敷 地	41,130㎡ 40,625㎡ 40,104㎡	0㎡	0㎡	41,130㎡ 40,625㎡ 40,104㎡		
		運動場用地	31,429㎡	0㎡	0㎡		31,429㎡
		小 計	72,559㎡ 72,054㎡ 71,533㎡	0㎡	0㎡		72,559㎡ 72,054㎡ 71,533㎡
	そ の 他		287㎡ 744㎡ 712㎡	0㎡	0㎡		287㎡ 744㎡ 712㎡
		合 計	72,846㎡ 72,798㎡ 72,245㎡	0㎡	0㎡		72,846㎡ 72,798㎡ 72,245㎡
	(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計
58,656㎡ 51,507㎡ 49,221㎡			0㎡	0㎡	58,656㎡ 51,507㎡ 49,221㎡		
( 49,221㎡)			( 0㎡)	( 0㎡)	( 49,221㎡)		
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	既存校舎解体および新 教育・研究棟完成 (24) 新教育・研究棟完成 (25)
		75室 69室 61室	40室 13室 30室	20室 15室 10室	4室 5室 (補助職員 2人)	0室 (補助職員 0人)	
		新設学部等の名称		室 数			
		人間学部 人間環境学科		9 室			

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	電子ジャーナル、視聴覚資料は、大学全体で共用	
	人間環境学科	31,608 [4,637] (29,705 [4,467])	40 [3] (25 [5])	20 [ 2] ( 20 [ 2])	22,440 (19,852)	0 ( )	0 ( )		
	計	31,608 [4,637] (29,705 [4,467])	40 [3] (25 [5])	20 [ 2] ( 20 [ 2])	22,440 (19,852)	0 ( )	0 ( )		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		新書庫完成 (25)	
		5,140㎡		410		623,417			
		4,862㎡		383		502,778			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				体育棟完成 (23)	
		2,909㎡							
		1,312㎡		総合グラウンド、野球場、テニスコート					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	実習費の設定 (23)
		教員 1 人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	94,500千円	94,500千円	94,500千円	
		共 同 研 究 費 等	11,469千円	11,000千円	設備購入費	7,579千円	7,579千円	7,579千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,110千円 1,080千円	930千円 900千円	930千円 900千円	900千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、寄付金(設立宗派・同窓会・寺院関係者)、手数料(入学検定料等)、資産運用収入 等						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学 学 校 名 称	大 正 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
仏教学部		人	年次 人	人		倍			
仏教学科	4	100	25	450	学士（仏教学）	1.18	平成22年度	東京都豊島区 西巣鴨3-20-1	
人間学部						1.16			
仏教学科	4	—	—	—	学士（仏教学）	—	平成5年度		平成22年度より学生募集停止
社会福祉学科	4	80	—	320	学士（社会福祉学）	1.13	平成5年度		
ソーシャルワーク専攻	4	—	—	—	学士（社会福祉学）	1.15	平成22年度		平成23年度より学生募集停止
環境コミュニティ専攻	4	—	—	—	学士（社会福祉学）	1.01	平成22年度		平成23年度より学生募集停止
人間環境学科	4	60	—	240	学士（人間環境学）	1.12	平成23年度		
臨床心理学科	4	110	5	450	学士（臨床心理学）	1.13	平成21年度		
人間科学科	4	105	3	426	学士（人間科学）	1.21	平成12年度		
人間科学専攻	4	—	—	—	学士（人間科学）	1.19	平成20年度		平成23年度より学生募集停止
教育人間学専攻	4	—	—	—	学士（人間科学）	1.24	平成20年度		平成23年度より学生募集停止
教育人間学科	4	65	3	266	学士（教育人間学）	1.21	平成23年度		
文学部						1.19			
表現文化学科	4	—	—	—	学士（表現文化）	—	平成15年度		平成22年度より学生募集停止
人文学科	4	140	3	566	学士（人文学）	1.19	平成22年度		
歴史学科	4	160	3	646	学士（歴史学）	1.20	平成15年度		
表現学部						1.19			
表現文化学科	4	200	3	806	学士（表現文化）	1.19	平成22年度		

- （注）・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
  - 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<人間学部 人間環境学科>

### (1) 担当教員表

届 出 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	オチアイ タカユキ 落合 崇志 (53)	平成23年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間環境論 仏教環境論 環境研究C ワークショップⅠ (環境) ※ ワークショップⅡ (環境) ※ ワークショップⅢ (環境) ※ ワークショップⅣ (環境) ※ ワークショップⅤ (環境) ※ ワークショップⅥ (環境) ※ ワークショップⅦ (環境) ※ ワークショップⅧ (環境) ※ フィールドワーク Ⅰ (環境) ※ 卒業論文 卒業研究						
									大学入門2	担当者退職のため、君島⇒落合へ 担当者変更 (24)
									基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	ワークショップⅠ～Ⅳを充実させ たため削除 (25)
専	教授	サイゴウ ヤスユキ 西郷 泰之 (56)	平成23年4月	人間探究B-Ⅰ 人間環境論 こども学基礎論Ⅱ 現代こども研究D 現代こども研究F ワークショップⅠ (子ども) ※ ワークショップⅡ (子ども) ※ ワークショップⅢ (子ども) ※ ワークショップⅣ (子ども) ※ ワークショップⅤ (子ども) ※ ワークショップⅥ (子ども) ※ ワークショップⅦ (子ども) ※ ワークショップⅧ (子ども) ※ フィールドワーク Ⅰ (子ども) ※ フィールドワーク Ⅱ (子ども) ※ 卒業論文 卒業研究						
					兼任	講師	ツダ トモコ 津田 知子 (36)	平成24年4月	現代こども研究D	西郷⇒津田へ担当者変更 (24)
									ワークショップⅠ (子ども) ※ ワークショップⅣ (子ども) ※	「ワークショップⅠ (子ども) 」「ワークショップⅣ (子ども)」 は複数開講のため支障はない(24)
									ワークショップⅡ (子ども) ※ ワークショップⅢ (子ども) ※	「ワークショップⅡ (子ども) 」「ワークショップⅢ (子ども)」 は複数開講のため支障はない(25)
									フィールドワーク Ⅲ (子ども) ※ フィールドワーク Ⅳ (子ども) ※ フィールドワーク Ⅴ (子ども) ※ フィールドワーク Ⅵ (子ども) ※	



専	教授	ノダ フミタカ 野田 文隆 (62)	平成23年4月	人間環境論 ワークショップⅠ (子ども)※ ワークショップⅡ (子ども)※ ワークショップⅢ (子ども)※ ワークショップⅣ (子ども)※ ワークショップⅤ (子ども)※ ワークショップⅥ (子ども)※ ワークショップⅦ (子ども)※ ワークショップⅧ (子ども)※ フィールドワーク Ⅰ(子ども)※ フィールドワーク Ⅱ(子ども)※ 卒業論文 卒業研究	専	講師	ウカワ ヨウ 編川 晃 (39)	平成23年4月	人間環境論	H23.4新採用のため担当者変更(23)
									ワークショップⅠ (子ども)※	「ワークショップⅠ(子ども)」 は複数開講のため支障はない (24)
専	教授	ヤマダ トモコ 山田 知子 (53)	平成23年4月	人間環境論 現代社会と環境 環境福祉論 環境研究Ⅰ ワークショップⅠ (環境)※ ワークショップⅡ (環境)※ ワークショップⅢ (環境)※ ワークショップⅣ (環境)※ ワークショップⅤ (環境)※ ワークショップⅥ (環境)※ ワークショップⅦ (環境)※ ワークショップⅧ (環境)※ フィールドワーク Ⅰ(環境)※ 卒業論文 卒業研究						
					専	講師	ホンダ ユウコ 本田 裕子 (34)	平成25年4月	人間環境論 環境研究Ⅰ	担当者退職のため山田⇒本田へ変更(25)
									ワークショップⅠ (環境)※ ワークショップⅡ (環境)※ ワークショップⅢ (環境)※ ワークショップⅣ (環境)※ ワークショップⅤ (環境)※ ワークショップⅥ (環境)※ ワークショップⅦ (環境)※ ワークショップⅧ (環境)※ フィールドワーク Ⅰ(環境)※ 卒業論文 卒業研究	
					専	教授	ノダ フミタカ 野田 文隆 (64)	平成23年4月	現代社会と環境	
									環境福祉論	
										フィールドワークⅠ～Ⅳを充実さ せたため削除(25)
専	教授	アノ ヒデアキ 天野 秀昭 (51)	平成23年4月	人間環境論 現代子ども研究Ⅰ ワークショップⅠ (子ども)※ ワークショップⅡ (子ども)※ ワークショップⅢ (子ども)※ ワークショップⅣ (子ども)※ ワークショップⅤ (子ども)※ ワークショップⅥ (子ども)※ ワークショップⅦ (子ども)※ ワークショップⅧ (子ども)※ フィールドワーク Ⅰ(子ども)※ フィールドワーク Ⅱ(子ども)※					こども学入門Ⅱ	新規科目(25)
									ワークショップⅡ (子ども)※	「ワークショップⅡ(子ども)」 は複数開講のため支障はない (24)
									大学入門2	落合⇒天野へ担当者変更(25)
									フィールドワーク Ⅲ(子ども)※ フィールドワーク Ⅳ(子ども)※ フィールドワーク Ⅴ(子ども)※ フィールドワーク Ⅵ(子ども)※	

専	教授	キモト シュウイチ 木元 修一 (62)	平成23年4月	人間環境論 環境基礎論C 環境基礎論D 環境研究B ワークショップI (環境)※ ワークショップII (環境)※ ワークショップIII (環境)※ ワークショップIV (環境)※ ワークショップV (環境)※ ワークショップVI (環境)※ ワークショップVII (環境)※ ワークショップVIII (環境)※ フィールドワーク I (環境)※	専	講師	本田 裕子 (34)	平成25年4月	人間環境論	H25.4採用のため担当者変更 (25)
									環境基礎論D	
									環境研究B	
									ワークショップI (環境)※ ワークショップII (環境)※ ワークショップIII (環境)※ ワークショップIV (環境)※ ワークショップV (環境)※ ワークショップVI (環境)※ ワークショップVII (環境)※ ワークショップVIII (環境)※ フィールドワーク I (環境)※	
兼担	教授	オオノ ミチオ 大野 道夫 (55)	平成23年4月	大学入門4 人間探究EーII						
兼担	教授	ユミヤマ タツヤ 弓山 達也 (48)	平成23年4月	大学入門2 人間探究HーI 人間探究HーII 人間環境研究A					人間探究HーII	「人間探究HーII」は複数開講のため支障はない(24) 担当者がサバティカル中のため、今年度未開講(24) サバティカルが終了したため担当(25)
									人間環境研究A	
									人間環境研究B	
兼担	教授	ウチダ エイジ 内田 英二 (48)	平成23年4月	大学入門3 人間探究I	兼担	教授	コバヤシ シンジ 小林 伸二 (49)	平成23年4月	大学入門3	所属学科担当科目増のため、負担減により担当者変更(23)
兼担	教授	コバヤシ シンジ 小林 伸二 (49)	平成23年4月	人間探究DーII					大学入門3	担当者所属学科科目増のため、負担減により担当者変更(23)
兼担	教授	ミヤザキ マキコ 宮崎 牧子 (49)	平成23年4月	大学入門3					人間探究BーII	担当者所属学科科目増のため、負担減により担当者変更(23)
兼担	教授	ワタナベ ケンジ 渡邊 健治 (63)	平成23年4月	大学入門3						
兼担	教授	ヒカサ マコ 日笠 摩子 (55)	平成23年4月	人間探究BーII	兼担	教授	ミヤザキ マキコ 宮崎 牧子 (49)	平成23年4月	人間探究BーII	所属学科担当科目増のため、負担減により担当者変更(23)
兼担	教授	ヒライシ ヨシコ 平石 淑子 (59)	平成23年4月	中国語I 中国語II 中国語V 中国語VI					中国語V 中国語VI	適正人数を考慮し、開講科コマ数減少(25)
									中国語I 中国語II	清水⇒平石へ担当者変更(24)
					兼任	講師			中国語I 中国語II	担当者退職(身分変更)。「中国語I」「中国語II」は複数開講のため支障はない(23)

兼任	教授	シオイリ ホウドウ 塩入 法道 (56)	平成23年4月	人間探究 G－Ⅱ		准教授				昇任により身分変更 (25)
					兼任	講師	キムラ ショウウ 木村 周誠 (51)	平成23年4月	人間探究 G－Ⅱ	担当者学科内の調整により塩入⇒ 木村へ担当者変更 (23)
兼任	教授	コヤマ テンユウ 小山 典勇 (65)	平成23年4月	人間探究 E－Ⅱ						
兼任	教授	ヒライ ユウケイ 平井 有慶 (67)	平成23年4月	人間探究 G－Ⅰ 人間探究 G－Ⅱ	兼任	講師	カンダツ テジュン 神達 知純 (41)	平成23年4月	人間探究 G－Ⅰ 人間探究 G－Ⅱ	担当者学科内の調整により平井⇒ 神達へ担当者変更 (23)
兼任	教授	コジマ トモシ 小嶋 知香 (55)	平成23年4月	人間探究 E－Ⅱ	兼任	准教授	ヤマウチヨウ 山内 洋 (51)	平成24年4月	人間探究 E－Ⅱ	小嶋⇒山内へ担当者変更 (24)
兼任	教授 (表現 学部長)	ニシカゲ ヒロコ 西蔭 浩子 (61)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ					英語Ⅲ 英語Ⅳ	役務過多により担当科目減 (23)
兼任	教授	イトウ ヨシコ 伊藤 淑子 (51)	平成23年4月	大学入門 3 大学入門 4 人間探究 E－Ⅰ 人間探究 E－Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	教授	オオバ アキラ 大場 朗 (57)	平成23年4月	大学入門 4 人間探究 E－Ⅰ						
兼任	教授	シバ ハルヒデ 司馬 春英 (59)	平成23年4月	人間探究 A－Ⅰ 人間探究 A－Ⅱ					人間探究 A－Ⅱ	担当者体調不良により休講 (25)
兼任	教授	ホシカワ ケイジ 星川 啓慈 (54)	平成23年4月	人間探究 A－Ⅰ 人間探究 A－Ⅱ					大学入門 3	担当者就任辞退により、担当者変 更 (23)
兼任	教授	イトウ マサミツ 伊藤 雅光 (55)	平成23年4月	人間探究 E－Ⅰ						
兼任	教授	フジワラ サトコ 藤原 聖子 (47)	平成23年4月	大学入門 3 大学入門 4 人間探究 H－Ⅰ 人間探究 H－Ⅱ	兼任	教授	ホシカワ ケイジ 星川 啓慈 (54)	平成23年4月	大学入門 3	就任辞退により藤原⇒星川へ担当 者変更 (23)
					兼任	准教授	テラダ ヨシロウ 寺田 喜朗 (38)	平成23年4月	大学入門 4	就任辞退により藤原⇒寺田へ担当 者変更 (23)
									人間探究 H－Ⅰ 人間探究 H－Ⅱ	就任辞退。「人間探究 H－Ⅰ」 「人間探究 H－Ⅱ」は複数開講の ため支障はない (23)
兼任	教授	イワキ ヒサノリ 岩城 久哲 (64)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	教授	シャウマン ヴェルナー (62)	平成23年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ						
兼任	教授	ウチダ エイイチ 内田 英一 (67)	平成23年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ						
兼任	教授 (学 長)	タダ コウブン 多田 孝文 (69)	平成23年4月	大学入門 1－Ⅰ 大学入門 1－Ⅱ	兼任	客員教授				学長任期満了のため (25)
					兼任	教授 (学 長)	カツザキユウ ゲン 勝崎 裕彦 (66)	平成25年4月	大学入門 1－Ⅰ	学長就任により多田⇒勝崎に担当者変更 (25)
					兼任	教授	モトヤマコウ ジュ 元山 公寿 (53)	平成25年4月	大学入門 1－Ⅱ	木村⇒元山へ担当者変更 (25)
					兼任	教授	キムラ ショウ 木村 秀明 (68)	平成23年4月	大学入門 1－Ⅱ	役務過多により多田⇒木村へ担当 者変更 (23)

兼任	教授	タマイ クニオ 玉井 邦夫 (50)	平成23年4月	大学入門 4	兼任	講師	イタニ トモミ 井洞 知美 (46)	平成24年4月	大学入門 4	H24. 4新採用のため担当者変更 (24)
					専	講師	ウカワ コウ 鶴川 晃 (39)	平成23年4月	大学入門 4	H23. 4新採用のため担当者変更 (23)
兼任	教授	オオシマ カズオ 大島 一夫 (54)	平成23年4月	大学入門 4 人間探究 F - I						
兼任	教授	ヨネヤマ タカコ 米山 孝子 (62)	平成23年4月	大学入門 4						
兼任	教授	カワカツ ケンリョウ 川勝 賢亮 (69)	平成23年4月	人間探究 D - II					人間探究 D - II	就任辞退。「人間探究 D - II」は 複数開講のため支障はない (23)
兼任	教授	オカノ メグミ 岡野 恵 (52)	平成23年4月	英語 I 英語 II					英語 III 英語 IV	所属学科内での調整により、田村 ⇒岡野へ担当者変更 (23)
兼任	教授	ハセガワ トモコ 長谷川 智子 (43)	平成23年4月	こども学基礎論 III						
兼任	教授	ハラ ヨシオ 原 芳生 (59)	平成23年4月	環境応用論 C						
兼任	客員教授	ナカムラ タカシ 中村 敬 (70)	平成23年4月	こども学基礎論 I	専	講師	ウカワ コウ 鶴川 晃 (39)	平成23年4月	こども学基礎論 I	H23. 4新採用のため担当者変更 (23)
兼任	客員教授	スミタニ シゲル 炭谷 茂 (64)	平成23年4月	環境福祉論					環境福祉論	フィールドワーク I ~ IV を充実さ せたため削除 (25)
兼任	客員教授	スギヤマ チカ 杉山 千佳 (45)	平成23年4月	現代こども研究 A	兼任	講師	アリムラタイシ 有村 大士 (35)	平成24年4月	現代こども研究 A	杉山⇒有村へ担当者変更 (24)
兼任	客員教授	カンノ ヨシヒデ 菅野 芳秀 (60)	平成23年4月	フィールドワーク I (環境) ※						

専	准教授	タカハシ マサヒロ 高橋 正弘 (41)	平成23年4月	大学入門3 人間環境論 環境基礎論A 環境基礎論B 環境研究A ワークショップI (環境)※ ワークショップII (環境)※ ワークショップIII (環境)※ ワークショップIV (環境)※ ワークショップV (環境)※ ワークショップVI (環境)※ ワークショップVII (環境)※ ワークショップVIII (環境)※ フィールドワーク I (環境)※ フィールドワーク II (環境) 卒業論文 卒業研究						
					専	講師	ホンダ ユウコ 本田 裕子 (34)	平成25年4月	大学入門3	H25.4採用のため担当者変更 (25)
					兼任	講師	イシザキカズキ 石崎 一記 (53)	平成24年4月	フィールドワーク II (環境)	高橋⇒石崎へ担当者変更 (24)
兼任	准教授	サトウ リュウイチ 佐藤 隆一 (53)	平成23年4月	人間探究B-I	兼任	講師	イタニ トモミ 井洞 知美 (46)	平成24年4月	人間探究B-I	学科内調整のため、犬塚⇒井洞へ 担当者変更 (24)
					兼任	教授	イヌヅカ ミネコ 犬塚 峰子 -(61)-	平成23年4月	人間探究B-I	就任辞退により担当者変更 (23)
兼任	准教授	シラキ タイチ 白木 太一 (51)	平成23年4月	人間探究D-I						
						教授				昇任により身分変更 (24)
兼任	准教授	タカハシ シュウユウ 高橋 秀裕 (56)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4 人間探究C-I 人間探究C-II	兼任	准教授	テラダ ヨシロウ 寺田 喜朗 (39)	平成24年4月	大学入門3	高橋⇒寺田へ担当者変更 (24)
兼任	准教授	ヒロカワ ススム 廣川 進 (51)	平成23年4月	大学入門3	教授					昇任により身分変更 (24)
兼任	准教授	タカハシ カズヒロ 高橋 一弘 (53)	平成23年4月	人間探究B-II	教授					昇任により身分変更 (24)
兼任	准教授	ミヤザキ ヨウイチ 宮崎 洋一 (51)	平成23年4月	人間探究D-II						
兼任	准教授	ハヤシダ ヨウジュン 林田 康順 (45)	平成23年4月	人間探究A-II		教授				昇任により身分変更 (25)
兼任	准教授	モトヤマ ヨウジュ 元山 公寿 (51)	平成23年4月	人間探究G-I 人間探究G-II		教授				昇任により身分変更 (25)
兼任	准教授	スズキ ギリ 鈴木 義里 (57)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4 人間探究E-I					大学入門3 大学入門4 人間探究E-I	担当者急逝のため担当者変更 (25)

兼任	准教授	ツカダ ヨシミチ 塚田 良道 (49)	平成23年4月	人間探究 D－Ⅱ		教授				昇任により身分変更 (25)
兼任	准教授	アラカワ ヤスシ 荒川 康 (42)	平成23年4月	環境実践論 A						
兼任	講師	シンボ ユウコウ 新保 祐光 (37)	平成23年4月	大学入門 2		准教授			大学入門 2	昇任により身分変更 (25) サバティカル終了のため、沖倉⇒ 新保へ担当者変更 (24)
	兼任				兼任	准教授	オヤラ トモミ 沖倉 智美 -(42)-	平成23年4月	大学入門 2	担当者がサバティカル中のため、 新保⇒沖倉へ担当者変更 (23)
兼任	講師	カツノ リュウコウ 勝野 隆広 (50)	平成23年4月	人間探究 G－Ⅰ 人間探究 G－Ⅱ						
兼任	講師	タムラ マサアキ 田村 雅昭 (58)	平成23年4月	大学入門 3 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ		教授				昇任により身分変更 (25)
					兼任	講師	ピーター アニヨン (61)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	教育効果の観点から内容を鑑み、 田村⇒アニヨンへ担当者変更 (24)
					兼任	教授	オクノ メグミ 岡野 恵 (52)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	所属学科内での調整により、田村 ⇒岡野へ担当者変更 (23)
兼任	講師	イヌツカ ミツ 犬塚 美輪 (34)	平成23年4月	大学入門 4						
兼任	講師	ミウラ ツツアキ 三浦 龍昭 (35)	平成23年4月	人間探究 D－Ⅰ						
兼任	講師	ウオオ タカヒサ 魚尾 孝久 (61)	平成23年4月	大学入門 3 大学入門 4						
兼任	講師	オオノ カズオ 大野 和男 (45)	平成23年4月	大学入門 3	兼任	講師	ナカガワジンキ 中川 仁喜 (34)	平成24年4月	大学入門 3	教育効果の観点から内容を鑑み、 大野⇒中川へ担当者変更 (24)
兼任	講師	コンドウ ヒロコ 近藤 裕子 (41)	平成23年4月	大学入門 3 大学入門 4						
兼任	講師	サカマキ リエ 坂巻 理恵子 (46)	平成23年4月	大学入門 3 大学入門 4						
兼任	講師	スズキ ハルコ 鈴木 治子 (54)	平成23年4月	大学入門 3						
兼任	講師	ニシダ ミドリ 西田 みどり (60)	平成23年4月	大学入門 3 大学入門 4						
兼任	講師	ミヤジマ シュンイチ 宮嶋 俊一 (44)	平成23年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ						
兼任	講師	ユイ キョウコ 由井 恭子 (39)	平成23年4月	大学入門 3 大学入門 4						
兼任	講師	サイトウ フユキ 斎藤 富由起 (44)	平成23年4月	人間探究 B－Ⅰ 人間探究 B－Ⅱ						
兼任	講師	オオヒラ マサミ 大平 雅美 (50)	平成23年4月	人間探究 F－Ⅱ						
兼任	講師	ヤマシタ ユウイチロウ 山下 裕一朗 (39)	平成23年4月	人間探究 F－Ⅱ						
兼任	講師	ワダ リョウシ 和田 典善 (36)	平成23年4月	人間探究 G－Ⅱ	兼任	教授	イグチ ケイ 野口 圭也 (56)	平成23年4月	人間探究 G－Ⅱ	新採用により和田⇒野口へ担当者 変更 (23)
兼任	講師	スズキ シンレイ 鈴木 晋怜 (50)	平成23年4月	人間探究 H－Ⅰ 人間探究 H－Ⅱ						
兼任	講師	ヤマナシ ユキヨ 山梨 有希子 (38)	平成23年4月	人間探究 H－Ⅱ					人間探究 H－Ⅰ	驚見後任。担当者変更 (23)

兼任	講師	ナガシマ ジョンドウ 長島 潤道 (39)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV						
兼任	講師	ナイトウ エイコ 内藤 栄子 (59)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV						
兼任	講師	オオハシ サトミ 大橋 里見 (43)	平成23年4月	英語 I 英語 II					英語 III 英語 IV	担当者退職のため、荒井⇒大橋へ 担当者変更 (24)
兼任	講師	コバヤシ ヨシノブ 小林 良信 (62)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV						
兼任	講師	フルヤ サトル 古家 聡 (57)	平成23年4月	英語 I 英語 II	兼任	講師	フレデリック メンデ (58)	平成24年4月	英語 I 英語 II	教育効果の観点から内容を鑑み、 古家⇒メンデへ担当者変更 (24)
									英語 III 英語 IV	教育効果の観点から内容を鑑み、 ライリー⇒古家へ担当者変更 (24)
兼任	講師	モガミ サキコ 最上 沙紀子 (64)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV	兼任	講師	テラサカ ユミ 寺坂 有美 (51)	平成24年4月	英語 III 英語 IV	教育効果の観点から内容を鑑み、 最上⇒寺坂へ担当者変更 (24)
									英語 V 英語 VI	教育効果の観点から内容を鑑み、 寺坂⇒最上へ担当者変更 (24)
兼任	講師	オオツカ ミチコ 大塚 道子 (56)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV						
兼任	講師	アオキ サチコ 青木 幸子 (56)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英語 III 英語 IV						
兼任	講師	ピーター ライ リー (63)	平成23年4月	英語 III 英語 IV	兼任	講師	フルヤ サトル 古家 聡 (58)	平成24年4月	英語 III 英語 IV	教育効果の観点から内容を鑑み、 ライリー⇒古家へ担当者変更 (24)
兼任	講師	レスリー コーブランド (37)	平成23年4月	英語 III 英語 IV						
兼任	講師	テラサカ ユミ 寺坂 有美 (50)	平成23年4月	英語 V 英語 VI	兼任	講師	モガミ サキコ 最上 沙紀子 (65)	平成24年4月	英語 V 英語 VI	教育効果の観点から内容を鑑み、 寺坂⇒最上へ担当者変更 (24)
									英語 III 英語 IV	教育効果の観点から内容を鑑み、 最上⇒寺坂へ担当者変更 (24)
兼任	講師	ジョー ゲイシン 徐 迎新 (55)	平成23年4月	中国語 I 中国語 II						
兼任	講師	チョウレイ 張 麗 (51)	平成23年4月	中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV	兼任	講師	チー ホン 漆 紅 (54)	平成24年4月	中国語 I 中国語 II	担当者からの申請により、負担軽 減のため担当クラスを張⇒漆へ変 更 (24)
兼任	講師	シミズ ヒロコ 清水 浩子 (63)	平成23年4月	中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV	兼任	講師	ヒライシ ヨシコ 平石 淑子 (60)	平成24年4月	中国語 I 中国語 II	清水⇒平石へ担当者変更 (24)
兼任	講師	モリヤマ マキコ 森山 真樹子 (66)	平成23年4月	中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV						
兼任	講師	チー ホン 漆 紅 (53)	平成23年4月	中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV 中国語 V 中国語 VI					中国語 III 中国語 IV	適正人数を考慮し、開講科コマ数 減 (23)
					兼任	准教授	クボタ シンイチ 窪田 新一 (57)	平成24年4月	中国語 V 中国語 VI	張⇒窪田へ担当者変更 (24)
					兼任	講師	チョウレイ 張 麗 (52)	平成23年4月	中国語 V 中国語 VI	漆⇒張へ担当者変更 (23)

兼任	講師	コウ レイケイ 孔 令敬 (55)	平成23年4月	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ						
兼任	講師	ニイツマ コウイチ 新妻 孝一 (68)	平成23年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ					ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	適正人数を考慮し、開講科コマ数減(23)
兼任	講師	ヤマサキ シロウ 山崎 史郎 (64)	平成23年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ						
兼任	講師	クオン チェスク 権 在淑 (56)	平成23年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 韓国語Ⅲ 韓国語Ⅳ						
兼任	講師	ミツ 三輪 イルマ (53)	平成23年4月	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ						
兼任	講師	ハンモト タイゲン 橋本 泰元 (57)	平成23年4月	ヒンディ語Ⅰ ヒンディ語Ⅱ ヒンディ語Ⅲ ヒンディ語Ⅳ						
兼任	講師	アライ ケイコ 荒井 圭子 (51)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	オオハシ サトミ 大橋 里見 (44)	平成24年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	担当者退職のため、荒井⇒大橋へ 担当者変更 (24)
兼任	講師	クリヤマ マサキ 栗山 正樹 (57)	平成23年4月	現代こども研究C						
兼任	講師	フシミ ムネブ 鷺見 宗信 (37)	平成23年4月	現代こども研究E	兼任	講師	ミツナリヤスコ 光成 康子 (64)	平成24年4月	現代こども研究E	鷺見⇒光成へ担当者変更 (24)
兼任	講師	ワダ トシカツ 和田 敏克 (43)	平成23年4月	現代こども研究G	兼任	講師	サクタ マチコ 作田 真知子 (65)	平成25年4月	現代こども研究E	和田⇒作田へ担当者変更 (25)
兼任	講師	エダキ ミカ 枝木 美香 (43)	平成23年4月	現代こども研究H 人間環境研究B	兼任	講師	タザワ シゲユキ 田澤 茂之 (44)	平成24年4月	現代こども研究H	枝木⇒田澤へ担当者変更 (24)
兼任	講師	サイトウ トモアキ 斎藤 友明 (62)	平成23年4月	環境応用論A						
兼任	講師	ウメハラ モトオ 梅原 基雄 (64)	平成23年4月	環境応用論B	兼任	講師	サクモトナオユキ 作本 直行 (63)	平成24年4月	環境応用論B	梅原⇒作本へ担当者変更 (24)
兼任	講師	トマツ ヨシハル 戸松 義晴 (56)	平成23年4月	環境応用論D						
兼任	講師	キミジマ ナナ 君島 菜葉 (36)	平成23年4月	環境実践論B 人間環境研究C	兼任	講師	ツチヤ キミヤス 土屋 侯保 (66)	平成24年4月	環境実践論B	君島⇒土屋へ担当者変更 (24)
					専	教授	オチアイタカユキ 落合 崇志 (54)	平成24年4月	大学入門2	君島⇒落合へ担当者変更 (24)
									大学入門2	担当者が就任辞退により、足立⇒君 島へ担当者変更(23)
							担当者未定		人間環境研究C	今年度未開講(24)
兼任	講師	サクマ カズキ 佐久間 一夫 (50)	平成23年4月	人間環境研究D						



専	助教	アダチ 足立 にれか (40)	平成23年4月	大学入門4 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間環境論					平成23年4月	大学入門4	鶴川⇒中川へ担当者変更(24)
										基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 人間環境論	就任辞退のため足立⇒鶴川へ 担当者変更(23)
						専	講師	ウカワ 鶴川 コウ 晃 (39)		こども学基礎論Ⅰ ワークショップⅠ (こども) ワークショップⅡ (こども) ワークショップⅢ (こども) ワークショップⅣ (こども) ワークショップⅤ (こども) ワークショップⅥ (こども) フィールドワーク Ⅰ(こども) フィールドワーク Ⅱ(こども) フィールドワーク Ⅲ(こども) フィールドワーク Ⅳ(こども)	「ワークショップⅡ(こども)」 「ワークショップⅢ(こども)」は 複数開講のため支障はない(24)

(注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

届 出 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
6	1	0	1	8	5	4	2	0	8	65	0
( )	( )	( )	( )	( )	[ Δ1 ]	[ 3 ]	[ 2 ]	[ Δ1 ]	[ ]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、  
「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)  
・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教	足立 にれか	自己都合のため就任辞退(23)
2	教授	山田 知子	自己都合のため就任辞退(25)
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

1. 後任教員を採用するとともに、他の専任教員で当初の担当科目を分担することとしたので、学生の履修等に影響はない(23)  
 上記のとおり、学生の履修等に影響はないため周知については行っていない。  
 2. 後任教員を採用するとともに、他の専任教員で当初の担当科目を分担することとしたので、学生の履修等に影響はないが、ガイダンス等で担当者の変更を周知した。(25)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 ( 2 3 年 3 月 )	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 ( 2 4 年 3 月 )	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 ( 2 5 年 3 月 )	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<人間学部 人間環境学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
変更なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

※関係規程等を転載又は添付すること

○平成5年度から「教育評価部会」を設置

○平成5年度から「教育評価部会」の下に「授業評価実施小委員会」を設置

○平成20年度から「学士課程教育構築に関する部会」を設置

○平成22年度から上記3部会を統合し、新たに「教育に関する評価部会」を設置

○平成22年度から「コース教務主任会」を設置

##### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

(平成21年度)

平成21年4月～平成22年3月

○「教育評価部会」(構成員:各学科・専攻の教員から1名ずつ互選。計7名)

6月に1回開催。委員は概ね出席。

○「授業評価実施小委員会」(構成員:各学科・専攻の教員から1名ずつ互選。計7名)

春学期2回、秋学期2回、計4回開催。委員は概ね毎回出席。

○「学士課程教育構築に関する部会」

(構成員:各コースから1名ずつ互選【主として教務主任】と部会長指名者。計20名)

計7回開催。委員は概ね毎回出席。

(平成22年度)

平成22年4月～平成23年3月

○「教育に関する評価部会」(構成員:各学科及び大学院から教員を1名ずつ互選。計8名)

春学期3回、秋学期2回、計5回開催。委員は概ね毎回出席。

○「コース教務主任会」(構成員:各コースの教員から1名ずつ互選。計18名)

春学期4回、秋学期7回、計11回開催。委員は概ね毎回出席。

(平成23年度)

○「教育に関する評価部会」(構成員:各学科及び大学院から教員を1名ずつ互選。計8名)

春学期2回、秋学期1回、計3回開催。委員は概ね毎回出席。

○「コース教務主任会」(構成員:各コースの教員から1名ずつ互選。計18名)

春学期4回、秋学期6回、計10回開催。委員は概ね毎回出席。

(平成24年度)

○「教育に関する評価部会」

(構成員：学部の各学科及び大学院の各専攻から1名ずつ選出された委員12名で構成。)

春学期1回、秋学期1回、計2回開催。委員は概ね毎回出席。

○「コース教務主任会」

(構成員：各コースの教員から1名ずつに、第I類科目及びキャリア教育担当教員を加えた計20名で構成。)

春学期4回、秋学期6回、計10回開催。委員は概ね毎回出席。

c 委員会の審議事項等

(平成21年度)

○「教育評価部会」

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」項目の見直し・活用方法
- ・外部講師による講演会の実施

○「授業評価実施小委員会」

- ・学生による「授業評価アンケート」項目の見直し・報告書作成

○「学士課程教育構築に関する部会」

- ・CP・AP策定
- ・講義概要やシラバスの検討
- ・平成22年度採用予定新任教員対象FD研修会

(平成22年度)

○「教育に関する評価部会」

- ・学生による「授業評価アンケート」運営、報告書作成、結果分析
- ・各種教育調査の結果分析

○「コース教務主任会」

- ・カリキュラムマップ策定
- ・シラバスの検討

(平成23年度)

○「教育に関する評価部会」

- ・学生による「授業評価アンケート」運営、報告書作成、結果分析
- ・各種教育調査の報告、結果分析

○「コース教務主任会」

- ・ゼミ制の強化、クラス担任制の導入
- ・専門教育におけるキャリア形成（キャリア教育）支援方法の検討

(平成24年度)

○「教育に関する評価部会」

- ・学生による「授業評価アンケート」運営、報告書作成、結果分析
- ・退学者に関する状況の分析、検討

○「コース教務主任会」

- ・進級基準、卒業基準の改善についての検討
- ・カリキュラム大綱・カリキュラム編成方針の検討
- ・ゼミ活動の活性化への取り組み

## ② 実施状況

### a 実施内容

(平成21年度)

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」
- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・外部講師による講演会
- ・CP・AP策定
- ・講義概要やシラバスの検討
- ・平成22年度採用予定新任教員を対象にFD研修会を開催

(平成22年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・カリキュラムマップ策定
- ・各コースにおける「シラバス検討会」
- ・平成23年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

(平成23年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・各コースにおける「シラバス検討会」
- ・各コースにおけるゼミ強化・クラス担任制導入にあたってのFD会
- ・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」
- ・平成24年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」

(平成24年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・各コースにおける「シラバス検討会」
- ・ルーブリック評価に関するFD研修会
- ・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」
- ・平成25年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」
- ・専任教員を主な対象とした「大正大学の明日を語るワークショップ」

### b 実施方法

(平成21年度)

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」  
春学期及び秋学期の授業終了後に作成し提出。「授業アンケート」結果と照らし合わせ、自己点検を行う。
- ・学生による「授業評価アンケート」  
春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。
- ・外部講師による講演会  
21年度は、他大学から講師を招き、学士教育課程の効果測定、特にラーニング・アウトカムの評価の意義やその手法について講演会を実施。
- ・CP・AP策定  
平成22年3月にCP・APを策定。
- ・講義概要やシラバスの検討  
平成21年より、授業の到達目標に関する項目を追加

(平成22年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」  
春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。

- ・カリキュラムマップ策定

平成23年1月にカリキュラムマップを策定。

- ・各コースにおける「シラバス検討会」

コース毎に教員が集まり、次年度科目のシラバス内容を検討する。

- ・平成23年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

次年度新任教員がワークショップ形式で行う。

(平成23年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」

春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。

- ・各コースにおける「シラバス検討会」

コース毎に教員が集まり、DP達成のためのCPとの整合性を取りながら、次年度科目のシラバス内容を検討する。

- ・各コースにおけるゼミ強化・クラス担任制導入にあたってのFD会

コース毎に教員が集まり、学生と教員のコミュニケーション強化、学生の個別学修状況把握などから最終的に就職につなげるためのゼミ強化、および1年次からのクラス担任制導入にあたっての問題点や実行策などを検討する。

- ・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

年度末に学生の「授業評価アンケート」結果を踏まえた上で、教員自身の授業自己点検およびフィードバックを行ない報告する。

- ・平成24年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」

次年度新任教員がワークショップ形式で行う。

(平成24年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」

春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。

- ・各コースにおける「シラバス検討会」

コース毎に教員が集まり、DP達成のためのCPとの整合性を取りながら、次年度科目のシラバス内容を検討する。

- ・ルーブリック評価に関するFD研修会

教員及び職員を対象に、ルーブリック評価の意義・作成方法・活用について外部講師を招いて研修を行う。

- ・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

年度末に学生の「授業評価アンケート」結果を踏まえた上で、教員自身の授業自己点検及びフィードバックを行ない報告する。

- ・平成25年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」

次年度新任教員がワークショップ形式で行う。

- ・専任教員を主な対象とした「大正大学の明日を語るワークショップ」

ルーブリックの導入を中心とした新DP作成の課題等をワークショップ形式で検討する。

- 開催状況（教員の参加状況含む）

(平成21年度)

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」

春学期：7月 秋学期：2月

- ・学生による「授業評価アンケート」

春学期：6月～7月 秋学期：12月～1月

- ・外部講師による講演会

平成21年6月24日（水）に初年次教育学会学会長・同志社大学社会学部教授山田礼子氏を講師として招聘し、「学士課程教育の効果をどう測るか」について講演会を開催。

(平成22年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」

春学期：7月 秋学期：12月～1月

- ・各コースにおける「シラバス検討会」

実施：1月～2月 報告書提出：3月

- ・平成23年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

実施：3月



(平成23年度)

・学生による「授業評価アンケート」

春学期：7月 秋学期：12月～1月

・各コースにおける「シラバス検討会」

実施：1月～2月 報告書提出：3月

・各コースにおけるゼミ強化・クラス担任制導入にあたってのFD会

実施：9月より月1回 報告書提出：3月

・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

実施：年度末 報告書提出：4月

・平成24年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

実施：2月

(平成24年度)

・学生による「授業評価アンケート」

春学期：7月 秋学期：12月～1月

・各コースにおける「シラバス検討会」

実施：1月～2月 報告書提出：3月

・ルーブリック評価に関するFD研修会

実施：2月

・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

実施：年度末 報告書提出：4月

・平成25年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

実施：8月

・大正大学の明日を語るワークショップ

実施：4月～1月

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成21年度のFD活動の実施結果を踏まえて、平成22年度以降も取組みを継続的に実施する。

具体的には、

・学生による「授業評価アンケート」

「授業の到達目標」に対する回答項目を検討

・外部講師による講演会を予定

学生による「授業評価アンケート」集計結果等から検討課題を見出し、次年度のカリキュラムやシラバスに反映する。

平成22年度FD活動の実施結果を踏まえ、平成23年度以降も継続的に実施する。

平成23年度FD活動の実施結果を踏まえ、平成24年度以降も継続的に実施する。

具体的には、

・Ⅰ類科目（教養科目・初年次教育科目）・キャリア教育科目とⅡ類科目（専門教育科目）の全体的な再構築（融合）に向けて、諸問題の検討

・上記を踏まえた各コースDPの再確認および見直し

・そのDPを実現するためのCPの作成、授業方法やシラバスの記載方法などの検討を行なう。

平成24年度FD活動の実施結果を踏まえ、平成25年度以降も継続的に実施する。

具体的には、

・DPと各教育課程の編成・実施のあり方の関連性をコース毎に明確にし、学生が当該コースでどのような力をつけることが期待されているのかを理解しやすくする。

・ルーブリックによる評価を一部導入し、その効果をコース教務主任会の責任において分析・改善しながら、将来的に全学導入を目指す。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

#### ② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期 平成26年4月

本学では、学則において教育研究活動の状況について自ら点検及び評価を行うことを定めている。また、本学では2008年度にTSR(大正大学の社会的責任)の方針を定め、これに基づき昨年度より自ら目標を立て、計画・実行し改善を継続していく、社会的責任を全うするための「内部質保証」システムを構築した。

組織的には理事長を長とする「TSR推進委員会」をおき、そのもとに学長を長とする「TSR推進運営委員会」、そのもとに「教育に関する評価部会」、「研究活動に関する評価部会」、「社会活動に関する評価部会」、「管理運営に関する評価部会」、「大学院に関する評価部会」の5つの「個別評価部会」をおいている。「TSR推進委員会」は、全学的観点から総合かつ体系的な自己点検・自己評価を行い、総括評価報告書を作成するとともに、PDCAサイクルが循環し質向上に向けた努力が継続的になるよう管理運営している。

#### b 公表方法

自己点検・評価の取組みが本学の教育研究活動の総括と方針決定に結びつく重要な業務であることを認識し、報告書にまとめることに留まらず、改善すべき内容については緊急度の高いものから随時具体化をはかる。自己点検・評価の結果については『自己点検・評価報告書』を刊行すると同時に本学のホームページにも掲出している。また、授業評価アンケートについては、年2回『学生による授業評価報告書』として刊行すると同時に本学のホームページに公開している。

#### ③ 認証評価を受ける計画

これまでに、平成6年に「大学基準協会」維持会員への申請を行い、平成7年度より維持会員となり、平成13年度に大学基準協会の相互評価を受けてきた。そして平成18年度には「自己点検・評価実施委員会」が作成した自己点検・評価報告書をもとにして、文部科学省の認証を受けた評価機関内の「大学基準協会」を利用して第三者評価を行い、「大学基準に適合する」旨の結果を得た。平成25年4月に「大学基準協会」へ大学評価の申請を行った。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( ☒ 有 ・ ☐ 無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 25年 6月 1日 )